

# 受賞おめでとうございます

政府は文化の日の11月3日、平成21年秋の叙勲受章者と褒章受章者を発表しました。北秋田市からは、教育功勞で元鷹巣中学校長の松田孫明さんが「瑞宝双光章」、更生保護功績で保護司の神成昭弘さんが「藍綬褒章」を受章されました。

また、11月2日には平成21年度秋田県文化功勞者の表彰式が県正庁で行われ、北秋田市の畠山義郎さんが詩の普及・発展での功勞により、佐竹知事から表彰を受けました。

3人の経歴と功績をご紹介します。

## 瑞宝双光章



松田 孫明 さん  
(綴子字佐戸岱・74歳)

—教育功勞—

昭和33年秋田大学学芸学部卒業後、同年9月から鷹巣中学校講師として教壇に立ち、同35年4月に童森中学校教諭として採用。その後、鷹巣南中学校、鷹巣中学校、鷹巣小学校、北教育事務所主任管理主事などを経て、同62年4月から小阿仁中学校長、平成元年4月から合川中学校長、同5年4月から鷹巣中学校長を歴任、同7年3月に定年退職。

その後、平成8年10月から同15年5月まで旧鷹巣町教育委員会教育長を務め教育行政にも寄与されました。父親が高校の理科教諭だった影響を受け、理科を専攻。現職時代は、観察や実験を通して楽しく物事の本質を学ぶ学習指導を信条とし、子どもたちの理科教育充実に貢献されました。

さらに、地域住民や保護者との連携を図り卓越した企画調整と指導力を発揮し、高い教育理念と識見、情熱をもって、学校経営のみならず広く教育行政に携わり、平成13年1月には伊勢堂岱遺跡の国史跡指定に貢献するなど、地域教育の充実発展に尽力されました。

## 藍綬褒章



神成 昭弘 さん  
(鷹巣字本屋敷・77歳)

—更生保護功績—

昭和59年4月から25年間、保護司として保護観察対象者の更生を支援し、社会復帰への指導に熱意を持って取り組まれました。

昭和7年1月1日生まれ。昭和22年に旧鷹巣町職員に採用。住民課長だった同59年4月に保護司会長の勧めで保護司になり、以来鷹巣地区で20人以上の保護観察対象者を担当。また、矯正施設に入所している者について、釈放後の帰宅先が更生のために適当かどうかを調査する環境調整では、10人以上を担当し更生を支援してきました。

この間、平成3年3月に同町役場を定年退職後、同年4月から1年余り(社)鷹巣社会福祉協議会事務局長を務め、同11年4月から北秋田地区保護司会理事、同15年4月から同会常務理事、同17年4月から同会副会長を歴任、同19年10月には法務大臣表彰を受賞。現在は、(社)北報公会理事長を務められています。

なお、規定により76歳以上は再委嘱(任期2年)されないため、今任期が終了した11月に保護司を退任されています。

## 秋田県文化功勞章



畠山 義郎 さん  
(木戸石・85歳)

—詩の普及・発展—

青年時代から詩作活動に携わり、大戦中の昭和16年から同18年まで月刊詩誌「詩叢」を主宰し、戦後は「奥羽詩人」「ハイン」「序」などの編集同人として参画、さらに「密造者」の発行責任者を務めるなど、県内の詩文芸活動の高揚を担ってきました。

著書も、昭和24年の「晩秋初冬」から平成20年の「続・続・続・続 鄙のこころ」の現在まで自作詩集や編纂者著作作品、人物評伝、エッセイ集など多数刊行、この中で対話集「まさひでもあぐら」(昭和37年)、海岸砂防林考「松に聞け」(平成10年)の2冊は日本図書館協会選定図書指定を受けています。

また、昭和36年から同60年まで「さきがけ詩壇」の選者、同55年から同58年まで「あきたの文芸」詩部門選考委員を務めるなど、後進の指導にも尽力されています。

平成5年には、青少年の詩文化の醸成を目指し、小中高児童生徒による「北東北子どもの詩大賞」を創設、現在まで続いています。

## 高齢者叙勲で旭日単光章を受章



旧森吉町議会議員 工藤 與助 さん

旧森吉町議会議員として地域の発展に貢献された工藤與助さん(88歳)に米内沢Ⅱがこのほど高齢者叙勲の旭日単光章(地方自治功勞)を受章し、11月5日、市役所森吉庁舎で長岐哲行北秋田地域振興局長から伝達表彰を受けました。

工藤さんは、昭和48年森吉町議会議員に当選、平成元年9月まで4期16年の永きにわたって森吉町議会議員を務められ、その間、総務常任委員長、文教社会常任委員長を歴任し、地方自治の発展に尽力されました。

## 厚生労働大臣表彰を受賞



市国保運営協議会委員 佐藤 正孝 さん

平成21年度の国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞した佐藤正孝さん(68歳)に松葉町Ⅱが11月2日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

佐藤さんは、昭和57年から保険医(歯科)代表として鷹巣町国保運営協議会委員を務め、合併後も引き続き北秋田市国保運営協議会委員として26年の永きにわたり、国保事業の発展に積極的に関わり、健全運営のために尽力されました。また、合併後は国保税の均一課税を提言し、合併翌年度の導入に尽力された功績などが評価されました。

## 農林水産大臣表彰を受賞



市農業委員会会長 後藤 久美 さん

このほど、第53回秋田県農業委員大会で農林水産大臣表彰の伝達を受けた、後藤久美さん(63歳)に下杉Ⅱが、11月9日に市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

後藤さんは、旧合川町及び北秋田市の農業委員として昭和53年に就任以来、現在まで10期約30年にわたり在職しています。この間、平成5年から平成17年までは、合川町の会長、合併後引き続き北秋田市の会長として通算約15年間にわたり会長を務め、地元の農業行政のけん引役として尽力しています。

## 全国土地改良連合会会長表彰を受賞



市綴子土地改良区理事長 三澤 敏行 さん

北秋田市綴子土地改良区の三澤敏行理事長(67歳)に大堤Ⅱが、このほど全国土地改良連合会会長表彰を受け、11月6日、市役所で津谷市長に受賞を報告しました。

三澤さんは、昭和56年、鷹巣町綴子土地改良区の理事になり、平成5年から理事長に就任、現在は県土地改良事業団体連合会北秋田支部長、県土地改良事業団体連合会副会長、市土地改良連絡協議会会長などの要職を務め、長年にわたり土地改良事業の推進と地域農業の発展に尽くされたことが評価されたものです。